

## 下呂市女性防火クラブ

～助け合いで地域を守ろう～

下呂市は岐阜県の中東部に位置し、長野県と隣接しています。まちの中央を飛騨川が南へ流れ、周囲には1千メートルを超える山並みがあり、飛騨木曾川国定公園や県立自然公園が位置する自然豊かな地域です。

下呂市女性防火クラブは、平成16年に下呂市の誕生（町村合併）と同時に結成されましたが、合併以前の時代からクラブ活動が盛んに行われています。

昭和34年に小坂町婦人防火クラブが結成されたことを皮切りに、その存在価値が高まり「萩原町」「金山町」「馬瀬村」「下呂町」にも婦人防火クラブが結成され、64年という長きにわたり活動を行っています。

現在行っている主な活動は、園児への防災

岐阜県下呂市女性防火クラブ  
会長 二村 チズ子



紙芝居の上演、バケツ注水会の開催、老人世帯への防火訪問などです。

「助け合いで地域を守ろう」というスローガンのもと、女性ならではの視点に立った活動を展開し、全市民に対して防火・防災意識の高揚に多大な貢献をしています。



## 高松市木太町 自主防災連合会

香川県高松市木太町自主防災連合会  
会長 樫 昭二



高松市木太町は、市の北東部の瀬戸内海に面した地域で、人口3万人余の市内最大の町です。平成11年に各自治会を単位とした自主防災組織が結成され、平成15年に地区内自主防災組織の相互連絡と調整を図り、災害に強いまちづくりを目指し、当連合会が結成されました。

翌年、平成16年に台風16号により、木太地区の北部地域が高潮災害に見舞われ、床上浸水267棟、床下浸水約1,000棟の甚大な被害を受けました。当時は、結成して間もない未熟な自主防災組織でしたが、地区連合自治会と連携し災害支援の活動に全力を尽くしました。

その時の教訓を踏まえ、毎年、地区内の小学校3校を順番に回り、自主防災組織とコミュニティ協議会が連携して防災訓練を実施すると共に、専門家を講師に招き、防災講演会を開催しています。

現在、南海トラフ地震の発生確率が高まっています。当連合会では、木太地区の地域特性を盛り

込んだ「防災マップ」と「防災ハンドブック(巨大地震用)」を作成し、全戸配布するとともに「地区防災計画」「避難所運営マニュアル」も作成しました。

なお昨年末、当連合会は「日本防火・防災協会会長表彰」を受表彰。これを機に、南海トラフ地震に備え、地域防災力の強化に取り組み「安全安心のまちづくり」を進めてまいります。

